

## 商 況

販 賣 旬 報 第 166 號 昭和 6 年 7 月 1 日

製 鐵 所 販 賣 部

### 4 怪 物

1、シャー、伸鐵、釘、鍍金、人或は之を鐵鋼界の四怪物と稱す。

解剖すればする程此言があまり荒唐無稽でもない様な気がする。

「興亡常無し」之れだけでも怪物の價値は充分であらう。然も此外此 4 ツは色々な點で怪物らしい相似點が多々ある。

第 1 には製鋼業者との分野が交錯して居る事である、然し釘だけは例外である。製釘業が原料たる線材を製造して居る處もないし、製鋼業者が製釘工場を兼ねたのも今の處は無いが、シャーは製鋼業者が兼業して居る處があるし、伸鐵工場は小型物で盛に製鋼業と衝突して居る鍍金も原料たる薄板の製造工場でも鍍金をやつて居る處もある。

第 2 に掲げ得るのは、比較的小資本で出来る事である。大した機械も要らないし大なる土地も必要としない。其内でシャーと鍍金は賃切りや賃鍍をしない限り、資本金を較べて多額の原料を必要とするし、従つてスペキエラチブになる點はよく通似つて居る。

第 3 は好況時には筈棒に景氣がよく不況になると眞先に悲鳴を擧げる、今月青筋立て々厚板 6,000 噸の積出を強要したと思ふ翌月には青息吐息で積留を歎願するのはシャーである、9mm が馬鹿値が出たと云ふてロールを注文して有頂天になつて居るとロールが出来上る時には已に暴落に遇つてベソをかくのは伸鐵である、震災で暴利取締令を出させる程儲かつたと思ふと不景氣の風に煽られてバタバタと影を消すのは鍍金屋である、只釘屋さんだけは共通性を缺いて一寸趣きが異つてあまり突飛な話は聞かぬ。

第 4、伸びそうになると頭を打たれるのも亦似て居る。

シャーは好調に儲かるので何時とはなしに其機能を膨脹させると、切斷が間に合はない間はシャー兼業の製鋼業者も其儘に放つて置くが一寸不景氣になると、製鋼業者が侵された自分の分野を奪還しようとして其處に争闘が起きる、

伸鐵業者も算盤と相談しては盛んに製鋼業者の分野に喰ひ込んで来るが、其内一旦不況に見舞れて製鋼業者が之に一瞥を興へる様になると二進も三進も行かなくなる。

支那の輸出でも利いて一寸釘の値が出ると大阪あたりでは 1 日 1 噸 2 噸の家庭工業式の工場が雨後の筍の如く出来て忽ち値を平均させる、之が製釘工場である。

代表的なものは鍍金工場である、芽が出たなと思ふとどこをどう説き伏せて金を集めるか知らぬが今迄休んで居た工場がゴトゴト動き出して硫酸の香を盛んに發散させて忽ち過剰となつて忽ち寂滅と来る之が定石である。

其主要な原因は第一に掲げた事に依るのは勿論である要するに何れも神出鬼没で誠に怪物らしい感がある。

中型山形共販第七同理事会-(7月8月積出しと締切) 6月19日中央事務所で中型山形鋼の7月積及8月積の賣出理事会が開催せられた。共販も最初の第一回賣出が目覺しかつた以來先物に就ては全く御話にならぬ位寥々たる申込で前途多難を恣々味はされて居るけれども市中の宣傳程組合は困つて居ない事丈は事實である。兎角市況の冴えない時には枯尾花が幽靈になつて見へると見へて實に五月蠅い程興多が飛ぶ。これ又人心險惡の兆と覺れば前途に對する一指針ともなる事であらう議事の主なるものを拾へば次の通りである。

#### 1、賣出數量

7 月 積	等 邊	不 等 邊	計
8 月 積	2,000 噸	500 噸	2,500 噸
	2,500 "	500 "	3,000 "

#### 1、賣出値段

7 月 積	{ 等 邊	58 圓	} 据 置
8 月 積	{ 不 等 邊	59 圓	

#### 1、其他の條件は全部従來通り

尙一般賣値段は従前通り即ち据置と決定した。

それから組合成立前各社が處分した數量に就き兎角誇張せられた宣傳が飛ぶのは冴えない市況を一層陰鬱にすると云ふ論から、毎月當分時書の出ないもの、出ても未だ引渡さないものを分けて數量を市中に發表したらと云ふ事になり不取敢次記が各社より報告せられた。此れ又市況反映如何は別として公明な共販の態度と自畫自讚したい。

寸法書未 提出數量	提出濟引渡 未濟數量	計
--------------	---------------	---

日本鋼管	約 3,000 噸	約 1,200 噸	4,200 噸
東海鋼業	—	” 1,000 噸	1,000 噸
製鐵所	—	” 300 噸	300 噸

此の内東海鋼業の引渡未済のものは朝鮮、熊本の電気會社の建設用材即ち鐵塔材であつて、工事遅延の結果引渡出來ぬものであり市中には出ないものである由なれば悲觀說樂觀說の區別があつても又からりと晴れるのもさう遠くはないに違ひない。

○26日締切を見る。申込數量各社計345噸厚板に劣る悪い成績である。然しこんな申込の原因を探つて見れば少くとも今月位はこれが當り前て、豫期した事であつて見れば別に組合としては驚く事でもあるまい。此の際誰が好んで見込買するものかと思へば各社辛じて食へる丈でも結構至極、やがて来るフーパー景氣でもじつと待つのが最も賢い遣り口であらう。

345 噸に就ては公平に3分した。

**中板共販理事會**—(7月積賣出し) 23日午後中板組合の7月積賣出しが大阪平和クラブで行はれた。常の如く4社と共販側の統制ある協議會で、中板と雖も世界の大局に抗し得ないと云ふものゝ共販の存在が齎す消極的利益に満喫しつゝ、次記の事項が決定された。

7月積賣出數量 計 2,000 噸

指定河岸渡噸當り一般賣値段

厚サ 1.6mm物	82 圓	厚サ 2.3mm物	80 圓
” 3.2mm物	71 圓	” 4.5mm”	68 圓

**厚板共販第9回理事會**—(7月積締切) 6月23日大阪の平和クラブで7月積耳附板の締切に關し第9回の厚板理事會が開催された。22日の正午迄に申込まれた數量計420噸實に寥々たるものであつた。

こんな數字が長く續く様では、或は共販危しの宣傳もあながち興多とばかりに聞き流されなくなるに違ひないけれども此處當分の間は組合員夫々 播磨の造船材、横濱東京の水道管材等々で世の中が騒ぐ程辛くも無く、どうにか凌がれそうだが、何れにしても先が案ぜられる、それにしても耳板の需要家である市中のシャ-リング業者の今日此の頃の鳴りを鎮めた落ち付き振りこそ、實に驚異に價する存在である。如何に外注安、夏枯れ、印度の黒い耳板、安處分物の在庫等々の悪材料が山積して居様とも共販の續く限りそう簡単に問屋は卸すまいと思ふとやがては足許から火が出る事がなければよいが、何れ此の點に關する高邁なる識者の判斷が承りたいものである。

次で前理事會來の懸案であつた小口賣の規格材に附て次の通り決議された。

イ、ボイラー用

定尺、不定尺 110圓 工場證明 5圓引  
ロ、車輛用、構造用

定尺物 80圓 不定尺物 85圓 工場證明 5圓引  
ハ、造船用(獎勵金折半のこと)

規格を附 72圓 規格以上を 75圓 工場 2圓引  
す場合 附す場合 證明

尙所謂端物類に關しては各社の定期も遂に満了したので、當初の計畫通り愈々6月發生物から一勢に組合として處分する事が決定されるに至つた事は成立以來の一大欣快事でこれに依つて所謂小さいシャ-リング業者も、そうそう危い外注スクラップに手も出すまいし、やがては端物を中心とする特殊の工業樹立にも至り一方我々メーカーの安定への一つの足場にもなるに違ひないだらう。

**線材共販退月短縮** 6月積の線材協議會の際、實需期の關係上と外注率制の目的で7月積を併せ賣出し、その後限月2箇月の方針であつた當共販も、何れにしても内地生産が完全に需要を満し得ない今日、歐洲線材組合に「狙ひ賣」をされるより寧ろ逆に先方の値段を眺めて賣ると云ふ方が得策であらうと云ふ事になつて1箇月限月の舊に復し、8月積は7月上旬に賣出される事に決定した。

**ブラツセル齋藤囑託通信** 6月20日入電市場は軟弱にして現在が愈々大底だと言はれて居る。

棒鋼 大型山形 中小型山形 工形(B,S) 鋼板 3/16''  
3-7-0 3-7-0 3-8-0 3-6-0 4-0-0

6月11日ブタペスト市に集合した國際粗鋼組合は其の存續を7月31日まで延長する事に決した。

6月26日入電

市場は先行強く、好轉の見込みで相場は一般に1志方上向いた

6月5日發信

市況は底無しの下落メーカーも呆れ果て賣止めの連中多く獨逸の如き一勢に市場より引上形勢傍觀の有様に候  
4月上旬の頃は見込は當て外れにて當分立直りの材料も御座なく候

6月12日發信

市況は沈靜を極め商談稀れに獨逸メーカーは先般御報申上候通り輸出市場より手を引き獨逸の輸出商は止むを得ず當地にて注文殘の手續を致居候

市場氣配は尙、1-2志安にて棒鋼 3-7-0、山形 3-7-0、工形(B,S) 3-6-0、鋼板(3/16'') 4-1-0を唱へ居候へ共名目相場に過ぎず候

**東西市況** (下支へ) 證券界は所謂フ-ヴァ-景氣に

躍つて居るので、鐵鋼界もその側杖位は喰ひ そうなもの  
と心待ちにして居た筋もあるが、事實は豫想に反して夏  
枯れが1箇月も早く来た様に ホツソリ閑として今の處は  
何等の反響も無く到底自力で挽回する力は望めない。然  
し海外が此モラトリアムに影響されて別項入電の如く假  
令1志でも上向いて来たと云ふ他方と、此先も何とかあ  
るだらうと云ふ氣構へから賣行不振に 不拘どうやら保合  
状態となつたと見られて居る。

### 東京市況

○丸 鋼 6mm は外注品入荷氣構と内地メーカーよりの  
注入により反落氣勢を改めず、9mm は安値物が少しく市  
場を彷徨するのと少々荷凭れの感も手傳つて頭重である  
12mm は不相變の品薄状態に底堅く、ベース物は先行の  
見込が立たない模様で氣迷ひを續けて居るが今の處は 5  
圓 60 錢 買と云ふ處である。中丸以上聊か軟調。

○角、平鋼 角は環境に連れて追々と軟化と見られ、平  
は 1/4×2 が極度の品薄に高値唱への 外は保合を續けて  
居る。

○型 鋼 中型等山は手持潤澤と賣行不振に 底意は弱く  
5 圓 50 錢買と云ふ心細い 状態である。猶工業大學の見  
積り物で當所が安値引合に應じた様な 噂も流布されて居  
るが事實無根であるから安神されたい。大型等山は 12×  
130 が品薄で腕りの外は殆んど 焦付、不等山も釘付、溝  
は 2 1/2×5 が粘寸法の入荷に追々と 平均された外これも  
不動、工形は溝形より氣分悪く小緩みと云はれて居る、  
然し總じて大型物は大體此邊が大底と 睨んで居るもの  
、扱て買に轉ずるだけの勇氣もなく、成行傍觀の時機と  
見られて居る。

○鋼 板 中板は消化力依然として極端に 不振の爲め軟  
勢未だ止まず 16mm は前旬より 10 錢 翹みの下押しを見  
23mm は手持は決して多くないが需要興らず活氣なく 32  
mm 不相變不冴 45mm は 弱保合であるが先安を氣構へ  
られて居る。60mm 以上は力盡きてか「ホツホツ悪くな  
りました」と云ふ香しからぬ話である。

### 大阪市況

○丸 鋼 永らく國際經濟機構を蔽うてゐた暗雲が米國  
大統領の賠償及び戰債延期の提案で 除去され、はるかに  
陽光の一線がさし込んで我鋼材界の パロメーターたる丸鋼  
も外電は 3 志方の高値を報じ、金利安との 合奏で從來の  
低迷人氣を幾分和げたと云はれてゐるが何分にも昨今は  
不需求期とて細丸ものはストック漸増の 態にて且つ伸鐵  
安値物に押されて伸びず、其他のものもこのモラトリア  
ムを以て有頂天となる如きは浮べる雲の空頼みにて鋼材  
界の天氣模様はまだまだ怪しいと見られてゐるが、兎に

角つゆ晴れくらゐの氣持は感ずる。

梅雨晴れやよると首長ものゝ花

○角、平鋼 角鋼は引續き不振の域を脱せず、6圓 翹みを  
唱へられてゐる。平鋼は前報品切寸法のものも當所よりの  
荷廻り弗々あり従つて軟弱の氣配を呈してゐる。

○型 鋼 等邊山形鋼は 既報の如く共販組合成立以前の  
安値契約品に押され相場は 共販の 建値を 1 圓 35 錢方  
下廻り、賣行不振、不等邊山形鋼及び溝形鋼も 枉變らず商  
内らしい商内なく不味沈靜の 商状を繰返してゐる。工形  
鋼は刺戟材料皆無にて目先も依然夏枯れの 場面を持続す  
るより外なきものと見られてゐる。

○鋼 板 1、2 中板は目立つた材料もなく平凡に推移し  
てゐるやうで相場は前旬來 1、30 錢方反落した。厚板は  
實際はどうか知らぬが近々印度方面より £3-0-0 にて稍纏  
つた數量が輸入されるとの 噂に早くも氣迷の態である。  
薄板不變。

○線 材 目下の呼値は

大陸物 1 英噸 70 圓 50 錢 當所品 1 噸 69 圓

神戸製鋼品 1 噸 68 圓 50 錢

である。

先般來漸落歩調にありしロッドも 最近廣東政府の針金  
の注文あり尙其他保稅品の注文もあり 従つて外注品も大  
部分處分されし處へ例の戰債モラトリアム にて本國一齊  
との報を入れ且つ日本線材共販組合 8 月渡値段發表見  
合せにより賣手強腰となり前旬來 1 圓 50 錢方戻した。  
○鉞力板 鉞力板は他鋼材に比較して下げ 脚緩慢であつ  
た丈けに本國高、市中品掠れ等の強材料の 影響も鈍いと  
云はれて居る。而し相場は依然伸力はない が下げ止つて  
來た。

販賣旬報 第 167 號 昭和 6 年 7 月 11 日

製鐵所販賣部

### シャーリング工場

1) 「抑々シャーリング工場とは如何なるものか」など  
と云はふもんなら、「阿呆！」と云ふお叱りを受けるは必  
要ではあるが、先日もさる大學の經濟學の先生から、「耳  
付鋼板とは如何なるものなるや 御教示煩度此段得貴意候  
也」との御手紙を頂戴してから考へて見ると、普段使ひ  
付けて何等の疑問も湧かない「耳付鋼板」と云ふ言葉も  
よくよく胸に手を當て、熟考すると 誠に變な名稱だ、分  
る方が不思議な様な氣もする、貴意を得られるのも無理  
はないと思つたので、繪を書いてお送りしたと云ふ例も  
あるので、若しやと云ふ老婆心から 通念だけ並べる、そ  
れて最初へ還つて抑々シャーリング工場は剪斷機を以て

注文の寸法に鋼板を剪断するだけの工場て之を大別すると三色ある。

1. は所謂大シャ-工場で、事務所には型の如く青テーブルが1番奥にあつて重役が正面を切つて、何係々々とズラリと居流れ、應接室には花鉢の一つもあらうと云ふもので、工場には技師長も居れば工場主任も居ると云ふ風に何から何まで本格に揃つて居て、内容としては主として建築用材、橋梁用材にする爲め、その例の耳付鋼板を剪断し、切り屑は伸鐵材料や、小シャ-工場用其他に賣却して居る。

2. は概念上の工場の方で社長兼技師長兼小使と云ふ様にあらゆる兼務をして居て、主として小さな注文を取つて其上賃切りや、地方の鐵材の剪断までやり、殘材ては副業としてナツトや、自轉車のギヤ-やあらゆる拔物ま

3. は丁度此兩者の中間を狙つたもので、主人公は背廣位は着て納まつて居るが1日に1回位はカンカン帽を冠つて工場長となる位の事はやる、て、比較的大きな注文も引き受けるが、副業も疎かにはしないと云ふ方て材料も一級品の耳付鋼板は安値物を狙ふだけの機敏さもあり、二級品 OK と云ふ處である。

要するに此三者を比較すると、1. は頭て行こう、2. は體てやらう、3. は頭と體のカクテルて切り抜けようて云ふのである。

2) そんなら、現在どんな工場があるか、次表にお目を留められたい。

備考の多い表は最も拙劣なものであるが、拙劣でも何でも此表に就てはどうしても説明を要する。

1. 剪断機臺數、變化常なきシャ-リング工場の事であ

主要ツヤ-リング工場一覽表

區 分		所 在 地	剪 断 機 臺 數	剪 断 する 限 度	能 力 (月額)	現在の剪断數量 (月額)	起重機 臺 數
名 稱							
東 京	東京シャ-リング株式會社	京橋區新 佃 島	5	1"	1,800	1,200	3
	株式會社シャ-リング工場	" 月島東河岸通	4	1"	900	700	4
	青柳シャ-リング工場	本所區綠 澤 町	4	1"	1,000	600	1
	横川 "	" 龜 綠	1	1"	250	150	—
	石川 "	" "	1	3/4"	150	100	—
	木村 "	" "	1	1"	150	100	—
	中藤 "	" "	1	3/4"	100	80	—
	三枝 "	" "	1	5/8"	100	50	—
	江東 "	" "	1	3/4"	100	70	—
	芝浦 "	芝 區日ノ出 町	1	1"	100	50	—
計			20		4,650	3,100	8
大 阪	大阪シャ-リング株式會社	此花區北安治川通	5	1"	2,000	1,200	3
	株式會社シャ-リング工場	港 區南恩賀島町	3	1"	1,500	900	2
	坂口シャ-リング工場	" 北境川通	3	1"	500	300	—
	奥小路 "	" 南境川通	3	1 1/2"	1,000	600	1
	港 "	" 泉 尾 町	2	1"	800	500	—
	井上 "	" 南境川通	2	3/4"	200	100	—
	石津 "	" 泉 尾 町	4	3/4"	400	300	—
	泉吉田 "	" 北境川通	2	1"	400	300	—
吉田 "	" "	3	3/4"	200	100	—	
計			26		7,000	4,300	6
東 西 計			46		11,650	7,400	14

備考 1. 6年3月高須賀シャ- (東京) 廢業

2. 大阪には此外群小工場約 20 あり

でして、よくよくの屑を賣ると云ふ行き方である、従つて使用する材料も、ほんの一部には耳付鋼板も使ふが主に端板や、解船材料までも漁ると云ふ状態である。

るから、どう變るか分らぬそれも一々工場を歴訪した事でないから或は一つ二つの誤はあるかも知れないと云ふ事を承知願度い。猶此表以外に鐵工場などには數多の剪

斷機を備へ付けては居るが、此はシャー專業ではないからオミットした事も付け加へて置く。

2. 剪斷し得る限度。これも工場へお伺ひすると、「私の方では寸二迄剪れます」「一寸までやれますとの事であるが成る程ボチボチ、ヤワヤワ切れれば切れるであらうが、此處に掲げたそう云ふ特殊の剪り方でなく、常識的に通常剪斷し得る厚みを現はしたものであるから、注文の仕方によつて此以上剪れると云ふことも諒知願つて置く。

3. 能力。此奴が中々困難で、これこそ、各工場のお話しの通り書けば東西2萬噸になるかも知れない、それにも理屈はある、手頃の厚さのものを晝夜兼行、最も善いコンダクションでやれば恐らく此倍位はやれようが、これも筆者の筆の先で壓縮集配したから不悪。

4. 現在の剪斷數量、尠いと云はれるより多い方が人聞きがよいからこれも能力同様仰せの通り掲げると際限がない。致し方ないので第三者の御意見を加味し加減乗除して出来上つたのだから、各工場の人々が此數字を見られたら御不満があらうと思ふ。然しこれでも未だ多い感がある、大阪や東京の此表に洩れた總ての工場を含んで此位の數量ではあるまいか。

3) 次は此處に到るまでの歴史であるが、此獨立したシャーリング工場なるものは日本獨得のもので、外國にはあまり其例がない。大抵製鋼工場の附屬工場で處理して居る。その原因の一は日本に幅の廣いユニバーサル平鋼の製作がないことに依るそうである。

日本では明治40何年かに大倉組が製鐵所の鋼板拂下から思ひ付いたのに初まつたらしく、其後耳付鋼板なるものがシャー業者の手に入る様になつて、東西共逐次に發達して來たが、彼の震災が此事業にエボツクを作つた。即ち震災により東京方面の鐵骨による建築橋梁等の異常なる増加が此の膨脹を刺戟したのである。そうして遂に昭和3年の「鐵鋼界華かなりし頃」と云ふピーク迄押し上げ、シャー業者は正に有罪に入つた感を抱いて業界に長嘯すると云ふ黄金時代の出現となつた。

それに造船用鋼板の製造を目的として造られた川崎、淺野の兩製板工場も、主として自己の船體用及水の東京の華と謳はれる六大橋などと云ふ官廳用方面に活躍して力を一般建築界まで延ばす餘方も無かつた、そんな状態がやはり昭和3年頃迄續いたから此處まではシャーの天下は至極泰平で鼓腹擊壤、常世の春を夢みて居つたのである。

處がである、桃源の夢はそうは續かぬ、昭和4年の反落時代に入るに及び聊か不安は感じながらも未だ墮勢で需要の激増を錯覺して製鋼業者の供給力不足から外注ま

で手を延すと云ふ豪勢振りを發揮したが、其年の暮近くから急轉直下所謂世界的の不景氣に見舞はれると共に東京方面の建築橋梁も一段落付くと云ふ風に需要が急減する一方製鋼業者の能力は御注文によつて増大する、外注したものは遠慮會釋なく入つて來るので需給のバランスは全然混亂した。また淺野にしる川崎にしる頼の綱の官廳方面の需要が此時期には殆んど根絶した。然るに昭和3年6月6日火入れした淺野の熔鐵爐からは容捨なく鐵が生れて出て來るので、之を處理しなければならぬ、そこへ持つて來て造船事業はパツタリと無くなり、總ての河童が陸上りの時代となつて、名前は造船所でもタワーやクレーン許り造ると云ふ時代となつたから、高踏主義を守つて居れず、一般市中まで手を延す様になつて此處に製鋼業者とシャー業者及シャー業者相互間に火の出る様な亂戰時代を出現して、とどのつまりが製鐵所耳付鋼板積止め問題と云ふカタストロフを演じて製鐵所は泣き四社は悲鳴を擧げ、シャーの或る者は白紙と判を預けて「どうぞ御隨意に」と云ふ様な状態を現出しそうになつたとの噂まで生んだ。

昭和5年は此大混亂裡に暮れてしまつた。製鋼業者側の亂闘も耳付鋼板が40圓臺倒れと云ふ屑鐵よりも安い値段まで追ひ込んで刀折れ矢盡きて6年2月の厚板共販組合の成立となり終焉の幕を閉じた。

こうなるとシャー業者は今迄の様に製鋼業を右と左に操つて値段を叩く事も出来ず、耳付と切板の韜はつめられる、それもまだ、亂闘時代の安値物を持つて居る間は何とかやり繰りも付こうが、これとて先は見えて居る、此注文の尠い時代に製鋼業者の切板を向うに廻して將來如何にして經營すべきか、製鋼業者は耳付鋼板を損をしてまで賣つて呉れる理窟はなく、其を買つてシャー業者はまた儲けなければ立つて行かぬ。製鋼業者は結局は片方だけで儲ければ暮して行ける、それと太刀打するのにはシャー業者たる者は何とか考へなければなるまい。換言すれば一、に掲げた者の何れを選ぶべきか、または他に活路を見出すべきか、それよりも猶製鋼業者との間に共存共榮の道はなきか。

**三軌會** 重軌條價格(自7月至9月)を決定する爲め6月22日大阪に於て三軌會開催。輸入値段及市況參酌の上次記の通り決定した。

記

1、20 哩以下 1 噸に付 91 圓替 (5 圓下げ)

2、超 20 哩 同 90 圓替 ( 同 )

9、10 月積鐵刀板協議會 7 月 3 日正午より本所東京出張所にて開催せられた。

外注値段は又々 6 片乃至 1 志強續 落の爲め前月と同様以上値下り額丈引き結局次の條件にて賣出すことに決定した。

- 1. 値段 100封度 1 級品 8 圓 25 錢(25 錢下)  
2 級品 8 圓 10 錢( 同 )  
170封度 1 級品 15 圓 5 錢(55 錢下)  
2 級品 14 圓 75 錢( 同 )
- 2. 賣出數量 1 級品 1,000 噸 2 級品 200 噸 計 1,200 噸
- 3. 申込締切 7 月 7 日

別製レトルトカーボンとベンゾール類

1. 別製レトルトカーボン販賣開始 曩に試験用として僅に 1 噸の契約を見た後は思はしい希望者もなく引續き需要喚起に努めて來た燐炭工場生産の別製レトルトカーボンは、今回關西某方面から大量契約の希望があつて第 1 回分として 240 噸の商談が出來た。

以上は今後も繼續的に契約する事となつたから 巷間新規特別燃料として大いに觀迎せられるに至るのも近い内であらふ。

因に本品の分析成績は次の通りである。

灰分	固定炭分	揮發分	比重	氣孔	硫黃
2.00	97.12	0.88	1.72	32.21	0.3

2. モーターベンゾール續騰 揮發油の軟弱もなんものかはと、モーターベンゾール市價は此處 1. 2ヶ月は一旬毎に躍進して殆んど手持筋の呼値委せの商狀を報ぜられて居た。

無物高も此處まで來れば極端と云ふの外はないが流石に必需筋も採算は度外視し難く漸次揮發油に乗換へるものも續出して最近漸く峠を見せ頭重を傳へられるに至つた。

一部生産者方面では卸値について尙一層の強氣を持して居る様だが市場呼値の暴騰は前回は報じた様に全く供給量不足の生んだ現象に過ぎないから、當所品今期(7月8月)渡價格は關係大口契約者の意嚮を容れて結局10圓値上に決定した。ソルベントナフサ及製鐵テレメン油新價格も以上に準じたが、獨り100%ベンゾールのみは純ベンゾールとの値差を考慮して今回も亦据置となつた。

1. モーターベンゾール	
2ヶ月 70 噸以上契約の場合	160圓替
同 35 噸以上 同	170圓
同 35 噸未滿 同	180圓
2. 100%ベンゾール 195圓	
3. ソルベントナフサ	
2ヶ月 20噸以上契約の場合	132圓
同 20噸未滿 同	137圓
4. 製鐵テレメン油 135圓	
(備考) 各八幡工場渡容器付 1 佛噸單價	

3. 純ベンゾール据置 一時染料界の不振より希望數量の減少を示した純ベンゾールも、最近各種ベンゾール類大不足の反動と特種染料の製造開始によつて再び増加契約を要求するもの續出し、一頃跡を絶つた新規取引希望者さへ現はれて來た。

全般的に減産の折柄新規希望を容れる餘地は全く無く從來の定期契約向に對してもかなり引受け數量を制限したが、今期(自7月至12月)渡價格は採算の基礎をなす當所モーターベンゾール及ソルベントナフサ1月以降6月迄の價格に著しい動きが無かつたので前回(昨年末)の値下價格を其の儘据置に決定し、純トルオールも同様据置を發表した。

一般向價格下の如し。

- 1. 純ベンゾール 185圓
- 2. 純トルオール 275圓

(備考) 八幡工場構内容器付 1 佛噸單價

7 月積黑薄板共販理事會(賣出と締切)6 月 24 日大阪電氣俱樂部にて簿板理事會が開催された。議事の主なものを拾えば次の通り

1. 賣出數量

内地賣數量各所社計	10,000 噸
輸出向 同 計	2,000 噸

恒例の各所社引受數量の細別發表は廢止された。

歸する所、有名無實の事は止したらよいと云ふ譯であらう。

1. 賣出値段 相變らず値段に附ては眞實の外注値段が聞かれない様な氣がする。消費者から見て、高く買はされる義務がないと同じく生産者から見ても殊更に安く賣らざる義務はない。買ふ者賣る者何れもフアインプレイを演ずるには、掛引のないほんとの外註値段を前にして商談してこそ徹底的の外註追隨も意味があるのではなからうか。此の點に附ては一部指定數中には實に見事な頼もしい論を平常する人もあるがいざ四社となると頗るぼやけて了ふ。實に遺憾な事の一つであるが現在の制度、事情のものにはまあ結局此れより他に法があるまいとでも云ふか。それはそうとして7月積値段に附ては5月積より隨分非難があつたが共販も遂に共販としての大方針に復し外註追隨を鮮明に表現する事になり次の通り決定された。

内地向値段

13 枚物 3 6 判	138 圓	8 枚物 3 6 判	123 圓
13 枚物 30 吋物浪板6呎、7呎及8呎共	135圓50 錢	7 枚物	120 圓
12 枚物 3 6 判	133 圓	6 枚物	115 圓
11 枚物 同	130 圓	5 枚物	105 圓
10 枚物 同	126 圓	4 枚物	102 圓
9 枚物 同	125 圓	3 枚物	97 圓

格差其の他は從來の通り

輸出向値段

13 枚物 3 6 判 107 圓

13 枚もの浪板 6 呎、7 呎、8 呎共 105 圓

超へて 6 月 27 日川崎造船所に於て 7 月積締切に關する理事會を開催、主なる議事次の如し

1. 申込と引受

申込は東西併せて 18,735 噸、賣出數量 1 萬噸に對し約倍額の盛況であつたのは思ひ切つて安値と先月の大阪方の不賣同盟に依る品掠れの爲であらうと云はれて居る尙空梅雨の好運に恵まれて思ひ掛りなく製品が動いたのも原因して居るらしい。

申込次の通り

内地	東大	10,185	18,735	}	21,755 噸
	京阪	8,550			
輸出	東大	50	3,020	}	
	京阪	2,970			

申込内譯

	内地向			輸出向		
	東京	大阪	計	東京	大阪	計
川崎製鐵	7,240	5,835	13,075	—	2,325	2,325
中山	2,675	870	3,545	50	285	345
徳山	—	1,225	1,225	—	245	245
日鋼	120	460	310	—	100	100
計	10,185	8,550	18,735	50	3,015	3,065

外に輸出先物として 8 月渡

川崎製鐵	1,140 T	125 T	50 T	1,270 T
------	---------	-------	------	---------

以上の申込に對し 共販としては 8 月の不需求期を期待する意味より内地向引受を 1 萬噸見當に止むるを得策と考へ引受を次の通り決定した。

	内地向	輸出向	計
川崎製鐵	7,000 噸	1,250 噸	8,250 噸
中山	1,680	345	2,025
徳山	1,225	245	1,470
日鋼	580	100	680
計	310	50	360
計	10,795	1,990	12,785

外に輸出向先物 8 月積の申込を其儘全部引受けた。

6 月中の三港輸入鋼材—漸増

1) 三港合して 1 萬 6,000 噸! 若しこれが 3 月の好調の反應だとすると誠に微温的な穩健なものであるが未だ 2、3 箇月の経過を見ないと駈とは請負へぬ。

成る程線材の 7,000 噸は 確かに此増加の主要原因ではあるが一つ一つに就て見ると角、平、工形等少してあるが頭角を現はして來て増加と云ふ空氣を醸成して居る。

2) 條鋼では等山の根絶は未だ繼續され、今月は不等山も愈々其影を没した。之に反して 前月全然其姿を見られ

なかつた工形が 400 噸の輸入を見た。

一番多いのは何と云ふても丸鋼で、500 噸足らずの數量を何時も保持して居る。平鋼の 600 噸は此際としては比較的大きな數字である、之は確かに 3 月の不足の影響と思はれる。

鋼板の 07 mm 超ではあの當時手當薄と先行好調を狙つて米國の U、S、S、P などと云ふ特殊物の 1/16'' や 3/32'' を輸入したのが主なもので其他の寸法のものも概して特殊なものとして云ふことが出来る。

07 mm 以下では神戸に 13×3×6 が 352 噸纏つて入つたのが近來の出色である、其外は概れ厚物である。

鉄力は例に依り平均された數量の輸入の跡を絶たぬは内地生産力の不足で如何とも致し方ない。

線材は豫期通り 5、6 兩月合して 1 萬噸、問題の 8 番線は 6 月に復も神戸に 270 噸入つただけで、値段も相當高値の模様である、其後東京にも大分出來たと云ふ噂があるので 7 月、8 月は恐らく激増するのではないか。

3) 3、4 月の交の好調が齎す輸入の刺戟はどの程度で收まるか分らぬが、6 月の數量から眺めると市場で騒いだ程大きなものでもない様に判断される。(後付の 6 月中三港輸入表参照)

ブラツセル 藤藤囑託通信—7 月 4 日入電 市場は駈りて上向歩調、相場次の通り。

棒鋼 大型山形 中小型山形 工形(B、S 鋼板(3/16'))  
3-11-0 3-10-0 3-11-0 3-7-0 4-1-0

6 月 19 日發信

市況は不相變極度の悲觀人氣に蓋はれ 至つて閑散に候得共一般に此度こそは底入れと申 居候目下最も安賣に應ずべき氣振りを見せ居るはルクセンブルグのメーカーにして棒鋼 3-6-0 迄賣應じ居候

11 日及 12 日ハンガリー國ブダペスト市に會合せる國際粗鋼ガルトル委員は兎もかく現状にて尙 1 箇月即ち 7 月末迄本カルテルを續行せしめ 7 月中に案を練りて改造を試みることにせりとの情報有之候

水曜日の相場

	Export	Inland
Bars (base)	£ 3-7-0	fr. 615
Angles (heavy)	3-7-0	615
" (med.)	3-8-0	625
" (small)	3-9-0	—
Hoops (base)	4-0-0	850
Joist (N. S)	3-5-0	610
" (B.S)	3-6-0	625
Wire Rod	6-0-0	850
Plats (3/16" or 5mm)	4-0-0	725
Blooms (6"-8")	3-0-0	550
" (5" & 6")	3-1-0	—

Billetes (3"-4") 3-1-0 570

6月1日現在白耳義熔鑪活動状態は總數 62 基中火入中のもの 47 基、24 時間生産鋼塊 8,823 噸、本年 1 月より 4 月末迄の 4 箇月間輸出噸數は下の如くに御座候。

(總てルクセムブルグを含む)

1. 銑 鐵	2. 半 製品	3. 製 品
40,800 噸	116,700 噸	965,100 噸
昨年同期 (49,700%)	(172,800%)	(1,134,000%)

製品内譯

棒 鋼	鋼 板	型 鋼	線及線材
391,100 噸	180,600 噸	162,400 噸	82,900 噸
(437,800%)	(187,600%)	(205,700%)	(103,000%)

等

4. 機 械 工 具 類	70,100 噸	(78,900 噸)
--------------	----------	------------

尙ルクセムブルグに於ける 1 月より 5 月迄の本年々初 5 箇月間の産額は

銑 鐵	鋼 塊
5 ヶ月間産額 870,276 噸	837,111 噸
昨年同期 (1,163,561)	(1,043,734 噸)

現在の熔鑪状態は

	火 入 中	總 數
アルベツド工場	15 基	23 基
ハデーロール	6 基	13 基
ウグレール	3 基	5 基
スタインフォール	1 基	3 基

其従業員 3 萬 6,857 人 (昨年末には 3 萬 9,700 人) にして其國籍は

ルクセムブルグ人	24,918 人	佛 蘭 西 人	803 人
白 耳 義 人	1,627 "	伊 太 利 人	3,751 "
獨 逸 人	4,116 "	雜 國 籍	1,642 "

東西市況(不動) 期待を掛けられたフーヴァー景氣も二旬を保ち得ずして呼吸押しとなつたが、此景氣の埒外に超然として居ただけに鋼材界は此 反動安も響かず不相變の極端な賣行不振に荷物も動かれば、さりとて値段も動かず、只ザツと成行を眺めて居る許りである。

東京市況

○丸 鋼 6mm は引き続き入荷に一路軟調を辿り、9mm は 20 尺以上の長尺物は品薄に高張つて居るが、其他は手持潤澤と伸鐵物の注入により弱保合を續けて居る、然し 56 圓買と云ふ氣持もある處を見るとそうそう容易く崩れそうにも考へられないと云はれて居る、12mm は品薄ながら弗々と入荷があるので、いくらか下押氣味となり、ベース物は未だ弱氣の域を脱するを得ず、値段は釘付けである、中丸以上ザリ安。

○角、平鋼 前旬聊か軟調を傳へられた角も再び此邊で踏み留まり、平も其後 1/4×2 の品掠れ状態が緩和せられざる爲め 6 圓 50 錢と上放れた外は概して平穩無事。

○型 鋼 型物中品薄で活躍して居るのは小型山形の 5/8 厚のものだけで 5/8"×3/8"、8 圓、5/8"×1"、7 圓 80 錢、5/8"×1 1/4" 7 圓 50 錢を稱へられて居る、それも 1/4 厚に

なるとガタ落ちて中型並の値段を傳へられて居る心細さである、中型山形は此邊を低迷して、氣持ちとして少々弱く値段は上向く力は勿論ないが、扱て是以下に賣應じようとする程の軟弱さでもない。大型等山、入荷に軟化、其他不等山、溝、工共取り立て、書く材料もなく只賣行不振に沈黙を守るのみである、其内で溝の 2 1/2×5 は mm 物寸法の入荷により平均され、mm 物は一擧に 6 圓 80 錢と下放れた。

○鋼 板 中板類は此頃の 16mm 物安値見積が市中の空気を亂したのと、賣行極度に不振な爲め厭氣がさした模様であるが、其内で 16mm 23mm は大體此邊で底突きとなりはしまいかと見られ 32 は未だ氣迷ひを脱せず、45 は先行氣迷ひを傳へられて居る、60 以上の厚板は動かざるも先行はシャーの態度一ツに依つて居ると見られて居る。

大阪市況

○丸 鋼 商品に對する地方よりの需要は農家と密接な關係があるが昨今は農繁期とて鐵材に對する地方筋の買控は特に目立つてゐる。ベースものは 5 圓 80 錢搦みを唱へられてゐるが伸鐵物は 5 圓 70 錢見當である。其の他のものも賣行不振に續落歩調を辿つて居る。

○角、平鋼 1 1/2" 角は從來として荷車等のシャフトに使用されてゐたが現在はスピード時代とて荷車に代つて自動車用ひられるやうになり従つて前記サイズの角の需要は殆んどなくなつたと云はれてゐる。其他の角鋼は引續き不味、平鋼も不味沈靜の域を脱せず唯當所品 6×19 9×19 の積遅れに市場品薄を告げて居るも荷動き少くどうにか伸鐵品にて間に合せてゐる。

○型 鋼 山形鋼小型物は市中在荷少く殊に 5/8"×1 1/4" など皆無にて相場は 7 圓見當を唱へてゐる。中型物は最近鐵道、建築方面への需要なく従つて相場も不伸、唯 1/4"×2 1/2" は品掠れにて強含みと云はれてゐる。溝形鋼、工形鋼共品切れ寸法もの相當ある様子なれど賣行不振に一向不冴。

○板 鋼 久しく強調を持續して來た中板殊に 32mm も其の後當所品の荷廻り順調なる爲め相場は漸落歩調にて 45×4×8-45×5×10 の如きは共販の建値以下の 6 圓 50 錢にて取引されてゐる。薄板は先般共販の大幅値下げをよそに目下強調を示し全く變態的商況を呈してゐる。

○線 材 既報の如く所謂フーヴァー景氣が手傳つて前旬來好調を持續してゐるが何分にも昨今は夏枯期にて上伸するまでには至らず、さりとて安値には賣らず茲許底意耽りを傳へられてゐる。

○鉄力板 巷間傳ふる所によれば去る 6 月 30 日英米鉄力



板シンジケートの期限満了と同時に米國はシンジケート値段を少々下げたとのことにて早くも外註に食指を動かさんとするあはて者もある様であるが而しこの際輕はずみの行動をとることは結局共倒れとなる とて幾分警戒してゐる筋もある。

蚊はこちへはいる隣のかやり哉

## 販賣旬報 第168號昭和6年7月22日 伸鐵工場 製鐵所販賣部

1)「伸鐵とは屑鐵を必要の重量に裁斷して之れに加熱してロールし小型鋼材を再製するを云ふ」無くもがなの定義であるが記事の進捗上已むを得ず書いた。ちやあ、關西製鐵の様にインゴットから作るの伸鐵ではありませんかとの質問の出るのは必定であるが、それは例外ですと片付けさせて戴いて先へ進みます。

時日がなかつたので、残念ながら「日本に於ける伸鐵工業發達史」を研究する餘裕を持たなかつたが、概觀した處では歐洲戰爭當時の鐵成金に刺戟されて大正4、5年頃先づ大阪方面に出現したもので、鐵が貴金屬扱ひを受けた大正7、8年頃には其の絶頂に達したが榮華の夢は破れ易く一度戰爭の終熄となるや恐慌風に吹き飛ばされて昔の姿を見るによしなくなつた、其後は一進一退して今日の状態に立到つたのである。

2)別表が現在に於ける伸鐵工場の鳥瞰である。

此表もチャーの時と同様説明付きとなつた事を御宥恕願度い。

1. 製造する品種と主要寸法 牧草を追ふて暮すジプシーの様な仕事の伸鐵では、どれと云ふて定つた品種を造つて居たのでは駄目である、従つて其品種も現在の處大體こんなものと云ふ意味で決して固定的のものでないこう書いて居る間でも變化して居るだらう。

2. 「能力」及び「現在生産高」これは決して主觀的のものでなく第三者から聞き集めた處のものを綜合したものである。ロール臺數と比例せぬ處もあるが、これも休んで居るロールもあらう。舊式も新式も製作の難易も條件となるであろうから、一概に云ふ理にも行くまい。特に「現在生産高」に到つては五里霧中である、今月は10日間て300噸出たから現在生産高は月1,000噸だと云はれる事も一理も二理もあるが、現在とは近來の意味で最近1箇月と限つたものでなく、その上前述の通り世間の人々の「マアそんな處でせうなあ」と云ふ程度を表はしたものと承知願度い。又伸鐵には今迄各工場別の生産高の發表がないので生産高の推定は雲を掴むより骨の折れる事である。何れ折を見て御報告を御願して完全なものを作ろうと考へて居る。

3)此表以外に九州の八幡伸鐵と鞆鐵釘會社とが脱けて居るが機を見て補足する。又東京方面には此表以外は主としてサツシュを作る宮伸鐵所でサツシュを造る合間に年額300噸位の山形鋼の生産をする。

東京鋼鐵製作所も主としてサツシュの製作をなすものである。

日本鋼材合資會社は最近製作を開始したのみで、未だテスト時期の爲め現在生産高を計上しない。

4. 「計」の欄にある%「現在生産高」を100としたる場合の比率を示したものである。

3)伸鐵で何よりも重大な關係を有するのは原料である其主要な部分は解船で之が全部の5%以上に達するであらう。其他は鐵骨建築の取壊し材料、古ロール、厚板剪斷屑及びスミロール等を利用して居る、大阪が東京に比し甚しく發達して居るのは、勿論伸鐵發祥の地と云ふ歴史的背景もあり、従つて従業員が訓練され、販路も確定した點もあるが其の重要な原因は此原料關係である、即ち伸鐵と共に當然發達した解船事業は大阪では已に相當の根底を有して尻無川から絶えず圓滑な供給を伸鐵工場へなして居る。又チャー業も大阪が發達して居るから其處から出る鋼板屑も多い。

其處へ行くと貧弱なのは東京である。伸鐵工場は解船材料も欲しいが定まつた當がないから、材料の仕入が困難な爲め甘く行かぬと云ふし、解船屋に云はせれば、買つて呉れるか呉れぬか分らぬのに、解船に手を付けて叩かれてもつまらぬとお互に遠謀深慮を廻らして中々發達しないのである。

4)人生の行路では昔の人も「七十古來稀也」と云はれて居るが、伸鐵では「十年古來稀也」である、こう表に書いてある處を見ると皆萬代不易の様であるが實際の有様は變轉極まりなく或は去年破れて今年造り、あるひは大家滅びて小家となる、住む人もこれに同じ、朝に死し夕に生るゝならぬ、唯水の泡にぞ似たりけると嘆ぜられた長明の言葉は、即ち製鐵業者の身上である。

なぜその様に、變るか。曰く、安く出来るからである、昭和5年某所の調査によると伸鐵業者の投下資本は250萬圓、そして1ヶ年生産高と稱するものは12萬5,000噸、生産高を話半分と聞いても噸40圓で足りる、製鋼會社のそれと比して何と安上りではないか。猶其表に據ると最大の會社が30萬圓、最小で15,000圓である。

小型の平が噸100圓、生産費は原料代が50圓、其他の費用はどんなに高く見積つても20何圓かで出來ます、それでたつた2萬圓も掛ければ月200噸は請合ひますとどうです1口乗りませんかと云はれれば、不自由しない小金

主要伸鐵工場一覽表 (6年7月)  
大阪

區分 名稱	所在地	製造する品種と主要寸法								ロー ル 臺數	能力 (月)	現在 生産高 (月)
		丸鋼	限度	角鋼	限度	平鋼	限度	山形鋼	限度			
石川伸鐵所	港區 新千歲町	$\frac{5}{8}, \frac{1}{4}''$ $\frac{5}{8}$	$\frac{5}{8}$	$\frac{5}{16}'', \frac{3}{8}-\frac{3}{4}$	$\frac{3}{4}$	$\frac{1}{8}'' \times \frac{1}{2}'' -$ $\frac{1}{2}'' \times 4''$	$\frac{1}{2}$	—	—	2	1,200	600
大阪伸鐵社	同繁榮町	—	—	$\frac{3}{16}'', \frac{3}{8}-\frac{1}{2}$	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{8}'' \times 1'' -$ $\frac{3}{8}'' \times \frac{5}{8}''$	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{8}'' \times 1'' -$ $\frac{1}{8}'' \times 1\frac{1}{4}''$	$\frac{3}{16} \times$ $\frac{1}{34}$	2	700	400
株式會社坂口定吉商店伸鐵部	同三先町	(設備中)	$\frac{5}{8}$	—	—	$\frac{1}{8}'' \times \frac{3}{8}'' -$ $\frac{3}{8}'' \times \frac{5}{8}''$	$\frac{3}{8} \times$ $2\frac{1}{2}$	—	—	2	700	500
關西伸鐵所	同南恩 賀島町	$\frac{1}{4}'', \frac{3}{16}$	$\frac{3}{16}$	—	—	$\frac{1}{8}'' \times \frac{3}{8}'' -$ $\frac{1}{8}'' \times 3''$	$\frac{1}{8} \times$ $3$	—	—	1	250	250
豐國鋼材社	同泉尾濱通	$\frac{1}{4}'', \frac{3}{16}, \frac{7}{16},$ $\frac{1}{2}, \frac{5}{8}$	$\frac{5}{8}$	—	—	$\frac{1}{8}'' \times 1\frac{1}{4}'' -$ $\frac{3}{8}'' \times 2\frac{1}{2}''$	$\frac{5}{8}''$ $\times 5''$	—	—	2	800	500
市岡伸鐵所	同市岡元町	—	—	$\frac{1}{4}, \frac{3}{16}, \frac{3}{8}, \frac{1}{2}$	$\frac{1}{2}$	—	—	—	—	1	300	200
泉尾伸鐵所	同泉尾 梅之町	—	—	$\frac{1}{4}, \frac{3}{16}, \frac{3}{8}, \frac{1}{2}$	$\frac{1}{2}$	—	—	—	—	1	250	200
合資會社高場石製鐵工	西淀川區 西島町	6mm, 8, 9, 11, 12, 15	15	—	—	—	—	—	—	2	700	500
豐島伸鐵所	港區泉尾 梅之町	$\frac{1}{4}'', \frac{3}{16}$	$\frac{3}{16}$	—	—	$\frac{1}{8}'' \times \frac{3}{8}'' -$ $\frac{1}{8}'' \times \frac{1}{2}''$	$\frac{1}{8} \times$ $\frac{1}{2}$	$\frac{1}{8}'' \times \frac{3}{4}'' -$ $\frac{1}{8}'' \times 1\frac{1}{4}''$	$\frac{1}{8}'' \times$ $1\frac{1}{4}''$	1	300	200
關西製鐵社	同南恩 賀島町	$\frac{1}{2}'', \frac{5}{8}, \frac{3}{4},$ $\frac{7}{8}, 1, 1\frac{1}{8},$ $1\frac{1}{4}$	$1\frac{1}{4}$	—	—	—	—	—	—	2	1,000	400
安治川伸鐵所	同三先町	$\frac{1}{4}'', \frac{3}{16}$	$\frac{7}{16}$	$\frac{1}{4}'', \frac{3}{16}, \frac{3}{8}$	$\frac{3}{8}$	$\frac{1}{8}'' \times \frac{3}{8}'' -$ $\frac{1}{8}'' \times \frac{1}{2}''$	$\times 1$ $\times 1$	—	—	1	250	200
赤井伸鐵所	東成區 新喜多町	$\frac{1}{4}'', \frac{3}{16}$	$\frac{7}{16}$	$\frac{1}{4}'', \frac{3}{16}, \frac{3}{8}$	$\frac{3}{8}$	$\frac{1}{8}'' \times \frac{3}{8}'' -$ $\frac{1}{8}'' - \frac{1}{2}''$	$\times 1$ $\times 1$	—	—	1	300	200
城東伸鐵所	同鳴野町	—	—	—	—	$\frac{1}{8}'' \times \frac{5}{8}'' - 3''$ $\frac{1}{4}'' \times \frac{5}{8}'' -$ $1\frac{1}{2}'' \times \frac{3}{8}'' \times$ $\frac{1}{2}'' - 1\frac{1}{2}''$	$\frac{3}{8} \times$ $1\frac{1}{2}$	—	—	2	500	350
中井伸鐵所	港區北 恩賀島町	—	—	—	—	$\frac{1}{8}'' \times \frac{1}{2}'' - 3''$ $\frac{1}{4}'' \times \frac{1}{2}'' - 1\frac{1}{2}$ $\frac{3}{8}'' \times \frac{1}{2}'' -$ $1\frac{1}{2}''$	$\frac{1}{8} \times$ $1\frac{1}{2}$	—	—	1	300	100
淀川伸鐵所	東成區 鳴野町	$\frac{1}{4}'', \frac{3}{16}$	$\frac{3}{16}$	$\frac{3}{16}'', \frac{3}{8}$	$\frac{3}{8}$	$\frac{1}{8}'' \times \frac{3}{8}'' \times \frac{3}{8}$ $\frac{1}{2}''$	—	$\frac{3}{8}'' \times \frac{3}{4}''$ $\frac{1}{8}'' \times$ $1\frac{1}{4}''$	$\frac{1}{8}''$ $\times 1\frac{1}{4}''$	1	250	150
計			30%		20%		45%		5%	22	7,800	4,750

東京

東京製鋼所	府下砂町	6mm— 12mm	12	75mm —12mm	12	$\frac{1}{8}'' \times \frac{5}{8}'' - 2''$ $\frac{1}{4} \times \frac{1}{2} - \frac{7}{8}, \frac{3}{8}$ $\times \frac{5}{8} - \frac{7}{8}, \frac{1}{2} \times$ $\frac{7}{8}$	$\frac{1}{2} \times$ $\frac{7}{8}$	—	—	1	600	400
青柳東京支店伸鐵	同	6—16	16	6—16	16	—	—	—	—	2	500	350
東京鐵筋製作株式會社	同	9—16	16	—	—	—	—	$\frac{1}{8} \times 1\frac{1}{2}, \frac{3}{16}$ $\times 1\frac{1}{2}, \frac{1}{4} \times$ $1\frac{3}{4}, \frac{1}{8} \times \frac{5}{8}$ $\times 1\frac{1}{4}, \frac{1}{8} \times$ $\frac{3}{8} \times 1\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4} \times$ $1\frac{3}{4}$	1	300	300
大島鋼材製作所	府下大島町	6—9	9	4.5—9	9	$\frac{1}{8} - \frac{3}{8}, \frac{1}{2}, \frac{5}{8}$	—	—	—	1	100	50
日本鋼材株式會社	同龜戶町	6—7.5	7.5	—	—	—	—	—	—	1	100	—
東京鋼作所	京橋區 島	9—15	15	8—15	15	—	—	$\frac{1}{8} \times 1\frac{1}{2},$ $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4} \times$ $1\frac{1}{2}$	1	50	50
石原鋼作所	府下 龜戶町	6—15	15	9—12	12	$\frac{1}{8} \times \frac{5}{8} -$ $1\frac{1}{2}''$	—	$\frac{1}{8} \times 1\frac{1}{4}, 1''$ $\frac{3}{16} \times 1\frac{1}{2}, \frac{1}{4}$ $\times 1\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4} \times$ $1\frac{1}{2}$	1	150	150
東京鋼鐵製作所	同大島町	6—12	12	6—9	9	$\frac{1}{8} \times \frac{1}{2} - 2,$ $\frac{1}{4} \times \frac{1}{2} - 1$	$\frac{1}{4} \times 1$	$\frac{3}{16} \times 1 - 1\frac{1}{2}$ $\frac{1}{4} \times 1\frac{1}{4} -$ $1\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4} \times$ $1\frac{1}{2}$	1	200	50
計			55%		10%		30%		5%	9	2,000	1,350
東西合計			35%		18%		42%		5%	31	9,800	6,100

を持つて居る者は、30圓儲かつたとすれば二三が6,000圓、話半分としても月に3,000圓は儲かる、そうすると1ヶ年で18割に廻る、こんな甘い商賈はないと、遂食指を動かしたくなるではありませんか、そこで2箇月か3箇月の間には自出度開業して見ると、まあ初めの2,3箇月はうまく行きませんがその内には200噸出ますと云ふ尤もな話である、2,3箇月経つと、原料が手に入らないので駄目ですが、解船屋と協定が出来たら2,3箇月中には圓滑になります、と云ふ尤もな話してある、2,3箇月経つと減多にこんな事はあるものではありませんが世界的不況が祟つて55圓でなければ賣れませんと云ふ尤もな話しの連続で結局は慾に頭を割られる。然し一旦設立して見ると泥棒に追銭の感はあるが、其内には何とかなるだろうを頼りに臍繰り迄注ぎ込む、苦しくなつて組合見た様なものを作つて値段の協定などをやろうとしても近來は堂々たる製鋼会社の組合でも抜け賣りがあるなど、云ふあらぬ噂を立てられる今日、まして「明日の手形」があつて見れば、賣らない譯にも行かぬ、何としても抜け駆けを防ぐ譯に行かないから出来そうで出来ぬ。そこで刀折れ矢盡きて逃げ出すと、擔保流れを受取つた債権者は遊ばして置いても無駄だからポツポツやつて見ようと看板の名が變つて動き出すが、他人委せでは結局喰はれてしまう。えい思ひ切つて5,000か8,000で手放せと云ふと、そう云ふ安いものなら乃公が一ツやつて見ようと云ふ特志家が出て、看板の名が三度變る。何時まで書いてもきりが無いから止めます。

次には市場に鈍感な事が伸鐵業をして行き詰らせるのである。伸鐵は製鋼業者の製作せぬ小型物を主として市場の品薄物を従としてねらうより外生きる道はないのである、米國の様に年額5,000萬噸も消費する廣大な市場では古い重軌條から輕軌條を30萬噸も生産する伸鐵会社があるとの事であるが、1ヶ年220—30萬噸しか消費力のない我國の現状では決して、ノンビリとした事は出来ぬ。まして月産100噸から最大6—700噸と云ふ僅少な生産しかせぬ伸鐵業者は餘程機敏に立廻らなければ立つて行かぬ、然るに實際の情況は伸鐵業の經營者は、自身が市場と接觸して居るものが無いと云ふてよい、従つて市場の趨勢に基だ不敏活な爲め後手々々と廻つてしまふ製鋼業者の分野の品種など變態的な品薄に乗ずる迄はよいが、製鋼業者の供給力が復歸した時、他の品種に轉換するとか、自己の分野に轉ずるとかする機を失し易い。

それでも近來はよほど敏感となつたのである、即ち別表にある、伸鐵の丸鋼の生産などは、つい先頃までは甚

だ黴いものであつたが、近頃の市場に6mmや12mmの品掠れが相當永引いた爲め、此に轉換したものである、大阪で山形鋼が5%計上されるのも3mm厚の品薄の影響と思はれる。此の表も後2,3箇月も経つと各品種の製造百分率は當然異つて来るであらう。又變らなければならぬである。

9月積先物協議會(1圓値上げ) 月日場所 7月10日製鐵所東京出張所 出席者、製鐵所、四社、東西問屋、議題、9月積角、平及び大型物先物値段の協議、買手側より提出せられたる外註値段其他別表の如し。

又要件として次の2案の提出があつた。

1. 中板及平鋼缺斤の件 2. 積運品處置の件

モラトリアムの影響により、外註は上向傾向にあるも、市場の情勢は全く活氣なく然も所謂フーヴァー景氣も近日反落氣勢の模様もあるを以て、暫く其推移を眺むる意味より、今月1ヶ月だけ据置とせられたしとの買手側提案があつた。

之に對して其理由も一應尤もなるも永い間値下げのみに終止したる鐵鋼界に於て暫く振りにての海外硬化なれば、之れにより内地市場を刺戟して氣持を轉換し且一方市場手持の値上りの點も考慮して、此際外註に追隨するが至當なる處置と考へ總て1圓値上げのことに決定した。

假令1圓にせよ、全般的に値上の聲を聞くのは、昭和4年2月に於て棒鋼ベース102圓に値上して以來實に2年5ヶ月振りのことにて之を以て見ても如何に鐵鋼界が久しきに亘りて不況裡に苦闘したかを知ることが出来る。又2ヶ年半の間に40圓の値下りをなした譯で102圓などと云ふことは、今となれば夢のまた夢で、どうしても實在した様に思はれない。

要件

1. にある中板の缺斤に就ては特に16mm鋼板のみ7.8.9月中の着荷品に限り販賣旬報第142號掲載目録處理に關する(ロ)にある「10噸」を臨時に「5」噸に改む。

2. の積運品處置の件は、今迄販賣旬報第142號「契約品の引取遲滞及積出遲延の處理」の條項に據らずに處理して居たが7月20日以後契約の分より改めて此の項に據り處理することとせり。

但し販賣組合等の特例あるものは此限にあらず。

尙製鐵所側より昭和5年5月末迄に引取るべき積留品の處置に就き考慮を促した。結果來月協議會迄に案を提出することになつた。

9月渡先物協議會

品種/區分	入電 沖着	河岸着値段 (爲替% $\frac{3}{8}$ )	希望	決定	備考
角鋼ベース	4-5-6	62.22	60	61	1圓上げ
平鋼(本所分野)	4-5-6	62.22	60	61	
大型山形鋼	4-5-0	61.98	59	60	
工形鋼	4-3-0	61.02	58	59	
溝形鋼(吋寸法)	4-16-0	67.31	65	66	
"(耗寸法)	4-2-6	60.77	58	59	
丸鋼ベース	4-5-6	62.22			
" 9mm	4-9-6	63.93			
中小型山形鋼	4-5-6	62.22			
鋼板6mm以上	4-16-0	67.31			
" 4.5mm	4-16-0	67.31			
" 3.2mm	5-2-0	70.23			
" 2.3mm	5-8-0	78.13			
" 1.6mm	5-12-0	80.07			
線材B.W.G.N05	5-15-0	68.22			
黒薄鋼板	10-15-0	139.71			
鉄力板 170 lbs	1-8-0	15.02			
" 100 lbs	0-15-7	8.39			

線材組合協議會(8月積線材賣出し) 月日場所 7月  
12日製鐵所東京出張所、出席者、神戸製鋼、製鐵所、三井、三菱、岩井、安宅、日商、

議題 8月積線材賣出し

1) 賣出値段 組合の賣出しは2ヶ月先物であつたが、7月に於て買手側の要望により、外註と對抗する爲翌月渡と改めたので今月は8月積賣出をすることゝなつた

買手側から出された外註値段は次の通り

外 註 値 段

Wire Rods Thomas B. W. G. #5	Cif. Price @ 2- $\frac{3}{8}$	Bright Wire B. W. G. #8
£ 5-15-0		£ 5-16-6
¥ 56.62		¥ 57.35
10.19	Import duty 18%	10.32
45	Interest 0.8%	45
1.30	Landing	1.30
¥ 68.56	Cost	¥ 69.43
1.03	Commission 1.5%	1.04
¥ 69.59	1,016 Kgs.	¥ 70.47
63.49	1,000 Kgs.	69.36

買手は此外註値段によつて8番線の加工費を大體3圓見當と睨んで8番線を易々と外註出來ざる様に前月(製鐵物69圓50錢 神戸製鋼69圓)の2圓下げを要望した。然し理論上から考へると

(1) 「外註追隨」の意味は8月入荷品に對抗して行けばよいので、買手側から出された外註値段は現在の外註値段で入荷は早くも9月の末になるから、之を根據として云ふことは矛盾である。

(2) 8番線問題も7月に入つてブライト、ワイヤーで293 噸、ガルバナイズで、229 噸合計 522 噸であるからこれも今の處問題としなくとも、將來如何様にしても處理出来る。

依つて此の2點より歸納して前月据置を主張した。

買手側は協議の結果先行軟弱の見込と8番線に對する關心から、せめて1圓下げでもして欲しいとの希望があつたので、然らば買手側が限月短縮の希望を自發的に引き込めるなれば、

8月のみの場合 据置 8月、9月の場合兩月共1圓下げ

と云ふ妥協案を出したが、買手は限月の延長は暫く止めて欲しいとの事で結局1圓下げの要望である。組合としては1圓下げは誠に不徹底の嫌があるが、買手の心情を買つて理屈抜きに之に應ずることゝして次の通り決定した。

製鐵所 63圓50錢、 神戸製鋼 68圓

2) 賣出數量 製鐵所と神戸製鋼も工場修理の關係上賣出數量は先月より減じて

神戸製鋼	製鐵所	計
3,000 噸	3,000 噸	6,000 噸

3. 締切と發表

締切 7月17日 發表 18日

ブラツセル齋藤託通信—7月11日入電 市場は健實なる閑散

棒鋼	大型山形	中小型山形	工形(B,S)鋼板(1/8")
3-11-0	3-10-0	3-11-0	3-8-0 4-2-0

7月18日入電、市場は不安定で獨逸財政危機の爲に軟弱である。

ブラツセルに於ける今日の國際鋼塊組合の例會は獨逸の委員缺席の爲め延期するの止むなきに到つたが相場も不變である。

6月26日發信 市場は閑散とは云へ底入れ人氣にて今週の氣配は寧ろ強氣と見られ相場も先週よりは6片乃至1志高を唱へ居候且つ米國大統領フーバー氏の戰債支拂延期の宣言は一般當地株式界始め經濟界に強氣材料となりたる等最近迄買控への態度をとり居たる買手も此上の安値なしと見んか今後は相當に買注文を發するものと存ぜられ候

先般御報申上候獨逸 Stahl werks verband のソワイエト注文は10萬噸契約調印となりたる由の情報御座候尚ポーランド、チエツコ等のメーカーとも若干鋼材供給の注文成立せし由に御座候

今週水曜日の相場

	Export	Ialand
Bars (base)	£ 8-8-0	fr. 625
Angles (heavy)	3-7-6	625
" (med.)	3-8-0	625
" (small)	3-9-0	625

Hoops (base)	4-0-0	850
Joists (N.S.)	3-6-0	610
" (B. S.)	3-7-0	625
Plates (3/8 or 5mm)	4-1-0	725
Wire (Rods)	6-0-0	850

7月3日發信

先般の米國フーパー大統領戰債1ヶ年支拂延期の提議發表以來歐州各國とも證券及商品取引所に好影響を及ぼし相場一勢に上向と相成申候鐵鋼界も亦強調を帯び來り2週前に比し棒鋼の如き4志高と相成り3磅11志ミマムの3磅13志さへ唱居候然れども7.8月は例年休暇期とて取引高年中最少のことに候へば此儘の棒上は如何がかと存ぜられ候

昨日の市況

	Export	Inland
Bars (base)	£ { 3-11-0 3-13-0	fr. { 640 650
Angles (heavy)	3-10-0	640
Joist (N. S.)	3-5-0	625
" (B. S.)	3-7-0	640
Hoops (cold drawn)	8-2-0	—
" (hot „)	4-7-6	—
Blooms (6''-8'')	3-0-0	—
" (5''-6'')	3-1-0	—
Billettes (3' & 4'')	3-2-0	—

**東西市況—(不變)** 10日に餘る返り梅雨と引き續き孟蘭盆、大阪はまた御祭り騒ぎと、こんな材料がそうでもなく閑散勝ちの現況に油を注いで八丁堀邊では店先で碁石の音がバチリチリと陰に籠つて響いて居る。

常態なれば17.8日頃になれば來勤の商ひの掛合もあるそうだが先月あたりからは、それも殆んど影を潜めて切羽詰つた必需品でなければ買はないと云ふ風になつたと傳へられて居る。

然し一面、先行手當の極度な手薄と、もう大抵行き盡したらうと云ふ氣構えから先行に對してはあまり悲觀せず、従つて相場も殆んど變らずに推移して居る。

**東京市況**

○丸鋼 6mm は入荷により落潮を續けて居る、輸入があつたと云ふので調べて見ると6月中に横濱は只の52吨であるが、この數量さへ重荷と響く程市場は神經過敏となつて居るのである。9mm も荷動きなく此邊を低迷し12mm は伸鐵物の58圓見當の品物の入荷によりどうやら間に合ふ程度となり、ベースは需要興らず未だ氣迷ひではあるが、此以下の軟化もなく56圓は最早賣物なしと云はれて居る、中丸以上弱い。

○角、平鋼 角は賣行不振ではあるが保合を續け、平は入荷のあつた割には強保合を稱へられて居る。

○型鋼 小型山形 3/8 厚は未だ緩和せられず8圓4.60錢を呼ばれ、中型山形は丸鋼ベースと同様の状態で此

下の値下げも考へては居ないと云はれて居る、大型等山は入荷の爲アリ安、不等山、溝、工は殆んど照會もないと云ふ程の閑散振りて書くべき何物も持たぬ。

○鋼板 1.6mm×3×6 が最近何か特別の需要があつたのか纏つた買物があつた爲め5錢から10錢方反撥した外1.6×4×8 も安値物も消化されて氣持よく、5×10 は平凡2.3 も此邊を底と見て居る筋もある、3.2 西路の氣持は未だよい様であるが東京は入荷に待期出來ず、4.5 は手當薄を氣構へ先行強いと云はれて居る、6.0mm 以上は聊か軟弱を傳へられて居る。

**大阪市況**

○丸鋼 太陽の黒點が消えたさうである、その影響は専門家にもはつきりわからぬらしいが、モラトリアムの膏藥張りの神經衰弱症的我鋼材界への實際的效果だつてそんなところに違ひない。その證據には當時あれほど騒いだのがもう忘れたやうに消えて「賣行不振」といふ言葉がいつの間にもやら常套語となつた。唯市中品切れの中丸75mm が6圓50錢、80mm 7圓と目立つて取引されてゐるのみである。

閑古鳥かもなく不河もなく音哉 燕 村

○角、平鋼 角鋼細物は伸鐵品に押されて不伸。其他のものは在庫潤澤にて一向に不冴、唯55mm は市中皆無にて7圓見當を唱へられてゐる。平鋼は當所積遅れにて品薄を告げ相場は6圓4.50錢を唱へてゐる。

○型物 鶴首して待つた小型アングル 3-4月渡しが漸く最近入荷あり久方振りに案内書で商内が出来てゐるのも奇觀といはれてゐる。中型もの、中4×50 は品掠れにて値段も6圓50錢迄騰つた。其他のものも共販の建値より上鞘にあり荷動き不味にかゝはず強調を示してゐる。工形鋼、溝形鋼共部分的に品薄を告げてゐるも實需伴はず不變裡に保合つてゐる。

○鋼板 1.2 中板は荷廻り順調にて相場は下押氣味にあり前旬より3.40錢方反落した、厚板は唱へは6圓30錢位なれ共實際は6圓内外にて商内成立の模様である。

○線材 目下の呼値は

大陸物	當所品	神戸製鋼品
1英噸	1噸	1噸
71圓	68圓50錢	68圓

である。

一時硬化氣構へなりシロツド界も獨逸財界危機の報に氣を悪くし且つ大阪市内の某貿易商の破綻及びこれについて某鐵線會社の工場休止等を眺めて茲許賣人買人共睨み合ひの態といはれてゐる。

○鐵力板 昨今は不需要期であるがパインアツプル等の製鐵方面への需要弗々ありかたがた市中手當薄と相俟つて保合商況を呈してゐる。

線材、薄板、鋳力板輸入速報

品名	6 月 下 旬				7 月 上 旬				7 月 中 旬			
	神戸 自6月19日 至6月28日	大阪 自19日 至27日	横濱 自18日 至26日	合計	神戸 自6月29日 至7月8日	大阪 自6月28日 至7月8日	横濱 自6月28日 至7月7日	合計	神戸 自7月9日 至7月17日	大阪 " "	横濱 自7月8日 至7月17日	合計
B.W.G.No.5	800	51	128	979	1,189	546	604	2,339	1,582	386	578	2,496
線材	388	714	26	1,128	672	337	51	1,060	671	30	10	711
其他	1,188	765	154	2,107	1,861	883	655	3,399	2,203	416	588	3,207
計	4,681	1,527	559	6,767	—	—	—	—	4,064	1,299	1,243	6,606
上下中計	76	125	100	301	126	470	—	599	70	192	10	272
薄板0.7mm以下	554	450	103	1,104	—	—	—	—	196	662	10	868
上下中計	714	226	397	1,337	325	129	647	1,101	567	—	661	1,233
鋳力板	1,501	402	1,079	2,982	—	—	—	—	892	129	1,313	2,334
上下中計												

東京大阪市中相場

(單位圓)

寸 法	下 旬		上 旬		中 旬		法 寸	下 旬		上 旬		中 旬		
	東京 6月 29日	大阪 6月 25日	東京 7月 8日	大阪 7月 5日	東京 7月 18日	大阪 7月 15日		東京 6月 25日	大阪 6月 29日	東京 7月 8日	大阪 7月 5日	東京 7月 18日	大阪 7月 15日	
	<b>丸 鋼</b>							<b>溝 形 鋼</b>						
6mm	7.95	7.70	7.85	7.60	7.70	7.50	1/4" x 2" x 4"	6.30	6.30	6.25	6.30	6.25	6.30	
9	5.75	5.70	5.75	5.80	5.75	5.70	0.312 x 2 1/2 x 5	7.10	6.45	7.10	7.60	7.00	6.50	
12	6.10	5.85	6.00	5.85	6.00	5.85	3/8 x 3 x 6	6.60	6.50	6.60	6.80	6.55	6.80	
19	5.75	5.80	5.75	5.80	5.75	5.80	3/8 x 3 x 8	6.40	6.30	6.40	6.40	6.40	6.30	
25	"	"	"	"	"	"	3/8 x 3 1/2 x 10	6.60	6.50	6.60	6.70	6.55	6.50	
50	5.90	6.00	5.90	6.10	5.90	5.90	3/8 x 3 1/2 x 12	"	"	"	6.60	"	"	
65	6.00	6.10	6.00	"	6.00	6.10								
	<b>角 鋼</b>							<b>工 形 鋼</b>						
9mm	6.40	6.20	6.40	6.20	6.40	6.20	1/4" x 3" x 6"	6.30	6.35	6.20	6.40	6.20	6.40	
12	6.20	6.00	6.10	5.90	6.10	6.00	3/8 x 6 x 12	6.40	6.40	6.40	"	6.30	"	
15	6.00	5.80	6.00	"	6.00	5.80	0.28 x 4 x 8	6.20	6.40	6.20	"	6.20	"	
19	6.10	6.00	"	"	"	"	0.35 x 5 x 12	6.60	7.00	6.50	7.20	6.60	7.20	
38	6.00	"	"	6.00	"	6.00	0.36 x 5 x 10	6.40	7.40	6.30	7.80	6.30	7.50	
	<b>平 鋼</b>							<b>鋼 板</b>						
1/4" x 1 1/2"	6.00	5.80	5.90	5.80	5.90	5.70	1.6mm x 3' x 6'	8.25	8.60	8.25	8.80	8.30	8.60	
1/4" x 2	6.30	"	6.50	"	6.50	"	1.6 x 4 x 8	8.20	"	8.20	"	8.20	8.50	
1/4" x 3	5.90	6.00	5.90	6.00	5.90	5.80	3.2 x 4 x 8	7.40	7.70	7.30	7.70	7.30	7.40	
3/8 x 4	6.00	6.10	6.00	5.90	6.00	"	3.2 x 5 x 10	7.60	"	7.50	"	7.40	7.50	
1/2 x 4	"	"	"	6.00	"	"	6.0 x 4 x 8	6.30	6.30	6.30	6.30	6.30	6.20	
							6.0 x 5 x 10	"	"	"	"	"	"	
							6.0 x 5 x 10	6.25	6.40	6.25	"	6.20	6.10	
							9.0 x 4 x 8	"	"	"	"	"	"	
							9.0 x 5 x 10	"	"	"	"	"	"	
	<b>等 邊 山 形 鋼</b>							<b>薄 鋼 板(13枚)</b>						
mm mm mm							米	55	54	54	54	55	54	
6 x 50 x 50	5.65	5.70	6.65	5.90	5.65	5.70	英	54.5	53.5	73	53.5	54	53	
6 x 65 x 65	"	5.75	"	6.00	"	5.75	八	54.5	52	53	52	54	52	
9 x 75 x 75	"	5.70	5.65	5.90	5.65	5.70								
9 x 130 x 130	6.40	6.45	6.40	6.50	6.30	6.50								
12 x 130 x 130	6.50	6.60	6.50	6.80	6.40	"								
15 x 150 x 150	6.30	6.45	6.30	6.40	6.30	"								
	<b>不 等 邊 山 形 鋼</b>							<b>鋳 力 板</b>						
3/8" x 2" x 3"	6.30	6.00	6.30	6.20	6.30	6.00	米	{170lbs	18.10	18.40	18.10	18.30	18.10	18.20
3/8" x 3 x 4	5.70	5.80	5.70	"	5.65	"	{100	10.30	10.20	10.30	10.00	10.30	10.00	
3/8" x 3 1/2 x 5	"	5.70	"	6.00	5.70	5.75	英	{170	16.80	17.20	16.80	17.00	16.80	17.10
3/8" x 4 x 6	6.30	6.40	6.30	6.50	6.30	6.50	{100	8.90	9.50	8.90	9.30	8.90	9.00	
1/2" x 4 x 6	"	6.45	"	6.70	"	"	八	{170	16.80	17.20	16.80	17.00	16.80	17.10
							{100	8.90	9.20	8.90	9.00	8.90	9.00	
	<b>線 材</b>							<b>No. 5</b>						
									74.00	69.00	73.00	68.50	73.00	68.50

備考 單位 100kg につき(置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 噸當り。鋳力板は 1 箱當り。

昭和6年5月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	塊	和	典	合	關	印	其他	計	本年度計	前年同期計
條及竿鐵 (丸、角、平の形にして、寸法は15mmを超えざるもの)	22	11	171	145	7	31	16	16	—	—	—	419	1,321	6,077
〃 (丸、角、平の形にして、寸法は15mmを超えざるもの)	35	2	93	153	22	26	21	1	—	—	1	354	4,157	16,446
〃 (テーパー形)	—	—	23	31	—	—	—	1	—	—	—	60	918	14,986
〃 (其他)	18	55	873	174	—	—	—	133	—	—	209	1,465	7,577	29,559
レール	—	—	203	—	—	—	—	896	—	—	—	1,099	1,780	6,969
フィッシュ、プレート	—	—	15	—	—	—	—	33	—	—	—	48	92	591
ワイヤー (巻きたるものにして、径5mmを超えざるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,021
〃 (巻きたるものにして、径5mmを超えざるもの)	—	525	2,435	—	—	253	32	2,098	—	—	—	5,343	23,792	36,549
鐵板 (金屬を鍍せざるものにして、厚0.7mmを超えざるもの)	—	—	37	—	—	—	—	59	—	—	—	96	870	4,669
〃 (金屬を鍍せざるものにして、厚0.7mmを超えざるもの)	223	—	79	—	—	—	—	37	—	—	6	345	4,089	19,809
〃 (金屬を鍍せざるものにして、厚3mmを超えざるもの)	1	51	64	—	23	—	12	108	—	—	—	259	1,473	6,118
〃 (金屬を鍍せざるものにして、厚3mmを超えざるもの)	—	—	2	—	4	—	1	18	—	—	—	25	1,535	28,493
〃 (鍍したるもの)	1,253	—	698	—	—	—	—	1,836	—	—	51	3,843	16,135	38,512
〃 (葉鐵及葉鋼)	6	—	20	—	—	—	—	2	—	—	32	60	494	1,092
〃 (其他卑金屬を鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	36	—	—	—	36	96	927
鐵線	52	1	166	2	2	—	24	45	—	—	—	292	1,309	949
リード・ワイヤー	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4	3
鐵リボン	77	50	88	8	12	—	17	3	—	—	—	255	1,988	2,568
帶 (箍鐵)	38	130	1,335	278	—	—	—	30	—	—	—	1,811	11,660	18,689
パラゴン・ワイヤー	—	—	25	—	—	—	—	—	—	—	—	25	122	96
線索	11	—	2	—	—	—	—	3	—	—	—	16	134	275
撚合線	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	5	17	4
ケーブル	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
パイプ	81	—	225	—	—	—	2	248	3	—	—	559	4,070	17,615
特殊鋼 (稅表一)	71	5	11	—	39	—	7	1	10	—	10	100	429	1,134
〃 (稅表二)	12	156	162	—	10	—	10	441	—	—	—	791	937	196
鐵道車輪及車輛用軸	—	—	—	—	—	—	—	20	—	—	—	20	81	1
鐵道車輛用タイヤ	—	—	30	—	—	—	—	—	—	—	—	30	147	2
鐵道車輛用グ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合計	1,851	987	6,762	791	119	310	142	6,073	13	—	309	17,357	85,227	253,348
フェロ・マンガニース	152	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	158	442	1,419
フェロシリコン及シリコ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51	30
スビーゲルアイゼン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他の不可鍛成鐵合金	—	—	1	—	—	—	15	—	—	—	—	16	93	279
シートバー (テインバーを含む)	—	—	854	—	—	—	—	—	—	—	—	854	11,046	35,979
インゴット・ブルーム・ピレット及スラップ	—	—	21	—	10	—	32	—	—	—	—	63	564	4,782
ケツグスチール及パンプスチール	—	—	—	—	—	—	14	—	—	—	—	14	26	163
其他の塊及錠鐵	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	4	4	—
合計	152	—	882	—	10	—	65	—	—	—	—	1,109	12,226	42,652
銑屑及故鐵	152	—	—	—	—	—	102	—	9,661	13,551	6,393	29,859	141,210	205,365
	4,387	—	—	—	—	796	—	2,273	1,882	10,252	9,157	28,747	82,097	267,568

昭和6年5月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表

(單位噸)

區分 寸法	丸 鋼								合計
	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				
	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	計	
9mm	2,195	2,764	775	5,734	17	—	2	19	5,753
11	5	—	—	5	—	—	—	—	5
12	423	—	71	499	—	—	3	3	502
13	—	—	127	127	—	3	13	16	143
15	—	—	98	98	—	—	—	—	98
18	—	—	2	2	—	—	—	—	2
19	—	—	297	297	8	17	—	35	242
20	—	—	—	—	10	—	—	10	10
22	—	—	14	14	3	—	—	3	17
25	32	—	10	42	—	—	—	—	42
28	—	—	1	1	—	—	—	—	1
30	—	5	—	5	—	—	—	—	5
32	—	—	11	11	—	—	—	—	11
34	5	—	—	5	—	—	—	—	5
35	10	—	—	10	—	—	—	—	10
38	6	—	2	8	—	—	—	—	8
40	10	—	—	10	—	—	—	—	10
44	7	—	3	10	—	—	—	—	10
50	238	135	105	478	—	2	—	2	480
55	82	31	6	119	—	3	—	3	122
60	61	42	6	109	3	3	—	6	115
65	141	115	65	321	3	1	—	4	325
70	82	88	22	192	7	5	—	12	204
75	160	85	29	274	—	6	—	6	280
80	31	30	2	63	—	4	—	4	67
85	1	—	—	1	—	—	—	—	1
90	68	67	35	170	—	19	—	19	189
95	35	22	—	57	22	6	—	28	85
100	61	68	27	156	1	1	—	2	158
110	—	1	3	4	2	1	—	3	7
115	—	16	2	18	—	—	—	—	18
120	—	5	—	5	—	—	—	—	5
130	—	27	—	27	—	—	—	—	27
135	—	—	39	39	—	—	—	—	39
140	—	36	1	37	3	1	3	7	44
145	—	—	—	—	3	—	—	3	3
150	—	25	2	27	—	—	—	—	27
160	—	10	—	10	—	—	—	—	10
170	—	10	—	10	2	—	—	2	12
180	—	37	—	37	—	—	—	—	37
190	—	6	—	6	—	—	—	—	6
200	—	55	—	55	—	—	—	—	55
220	—	—	—	—	2	2	—	4	4
丸鋼計	3,658	3,680	1,665	9,003	86	84	21	191	9,194

區分 寸法	角 鋼								合計
	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				
	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	計	
9mm	—	—	—	—	2	—	—	2	2
12	124	55	12	191	—	—	—	—	191
13	—	—	—	—	1	—	—	1	1
16	119	15	34	168	—	1	—	1	169
19	55	25	36	116	1	—	—	1	117
22	40	15	11	66	3	3	—	6	72
25	69	42	15	126	1	29	—	30	156
26	—	—	1	1	—	—	—	—	1
28	25	1	2	28	2	13	—	15	43
32	75	56	16	147	5	8	2	15	162
38	89	75	6	170	5	33	—	38	208
40	—	1	—	1	1	—	—	1	2
44	62	25	3	90	3	—	—	3	93
45	—	—	4	4	—	—	—	—	4
46	—	—	—	—	1	—	—	1	1
50	50	22	8	80	3	1	—	4	84
55	—	—	1	1	—	—	—	—	1
60	—	1	—	1	—	—	—	—	1
65	20	37	2	59	2	9	—	11	70
70	—	2	—	2	—	—	—	—	2
75	15	—	1	16	—	6	—	6	22
76	—	—	—	—	1	—	—	1	1
80	1	1	—	2	1	—	—	1	3
90	—	—	—	—	—	2	—	2	2
95	—	—	—	—	5	1	—	6	6
100	5	—	2	7	—	12	—	12	19
150	—	1	26	27	—	—	—	—	27
角鋼計	749	374	180	1,303	37	118	2	157	1,460
平 鋼									
19mm	23	116	30	169	1	—	—	1	170
22	89	32	27	148	1	—	—	1	149
25	170	55	71	296	1	4	—	5	301
30	—	—	10	10	—	—	—	—	10
32	339	45	4	388	1	—	—	1	389
33	363	178	21	562	—	—	10	10	572
44	190	149	1	340	—	—	—	—	340
46	1	—	—	1	—	—	—	—	1
50	473	314	25	812	7	—	3	10	822
55	—	—	—	—	6	—	—	6	6
65	269	94	16	379	—	—	—	—	379
70	—	—	1	1	—	—	—	—	1
75	457	58	30	545	4	—	—	4	549
86	—	—	1	1	—	—	—	—	1
90	248	103	38	389	4	1	—	5	394
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100	69	15	6	90	3	—	—	3	93
112	—	—	—	—	—	2	—	2	2
125	—	15	—	15	4	—	—	4	19
250	—	—	—	—	—	5	—	5	5
平鋼計	2,691	1,174	281	4,146	32	12	13	57	4,203
棒鋼總計	7,098	5,228	2,126	14,452	155	214	36	405	14,857



昭和6年5月中當所品種寸法別生産高 (其の一) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數		
<b>棒鋼の部</b>		<b>スケルプ</b>		350×150	1,087	5.5	1	9	1	<b>疵物鋼板</b>			
<b>丸鋼</b>		72mm	593	<b>計</b> 5,385		6	193	<b>計</b> 5,594		1.6mm	8		
		90	806	<b>乙形鋼</b>		6.5	39	<b>耳付鋼板</b>		2.3	3		
		112	1,047			7	18			3	7		
		142	251			8	67			3.2	11		
9mm	1,134	<b>計</b> 2,697				9	86	1.6mm	1	3.5	1		
10	105	<b>棒鋼計</b> 6,916				10	230	4.5	275	4mm	3		
12	181	<b>型鋼の部</b>				11	90	6	489	4.5	6		
13	402	<b>等邊山形鋼</b>				12	297	8	185	6	4		
16	590	400×100		7	7	13	69	9	1,123	<b>計</b> 43			
20	4	75mm		980			14	114	11	95	<b>二級品</b>		
21	3	90		619			15	10	12	1,218	1mm	1	
50	306	100		592			16	146	14	124	1.6	14	
55	82	130		1,808			18	49	15	10	1.85	4	
60	1	150		2,390			19	20	16	1,787	2.3	7	
65	233	<b>計</b> 6,389		<b>型鋼計</b> 14,302		20	24	19mm	868	6	40		
75	24	<b>不等邊山形鋼</b>		<b>條鋼計</b> 21,218		22	68	22	14	7	2		
80	49			<b>鋼板の部</b>		23	2	25	95	8	57		
90	143			鋼板(0.7mm以下)		24	1	<b>計</b> 6,284		9	134		
100	30			sheets		25	4	<b>耳付縞板</b>		10	63		
<b>計</b>	<b>3,287</b>			6		26	6			11	112		
<b>角鋼</b>				7		28	8			12	122		
12mm	27			8		30	32			13	14		
19	56			10		32	7			14	37		
20	1			13		34	28			15	25		
22	7			170		36	25			16	152		
25	7			317		38	35	<b>計</b> 459		<b>縞鋼板</b>			
26	1			213		40	7			17	50		
30	2			583		42	45			18	18		
32	5			1,978		44	57			19	99		
36	1			0.35mm		46	4			20	14		
50	41			0.43		48	57			21	3		
65	10			0.5		49	11			22	4		
75	43			鋼板(0.7mm超)		50	12			23	2		
150	20			sheets		52	36			25	33		
<b>計</b>	<b>221</b>			5		54	10	<b>計</b> 592		<b>鐵力板</b>			
<b>平鋼</b>				94		56	71			<b>計</b> 1,007			
25mm	87			1		57	4			<b>鋼板計</b> 20,460			
60	2			1		60	20			<b>軌條の部</b>			
65	55			1		62	14			<b>軌</b>			
75	259			1		64	4			10K		238	
90	23			1		65	198			22		1,134	
100	16			2		66	4			30		666	
3/8"	101			2		67	124			45		151	
<b>計</b>	<b>543</b>			2		75	19			50		5,414	
<b>帶鋼</b>				2		78	16			<b>ユニバーサル平鋼</b>			
90mm	14			2		85	5			130oz		184	
92	61			2		88	3			144		374	
102	14			2		90	19			10mm		122	
2 5/8"	13			2		95	4			19		191	
3	66			2		96	53			25		1	
<b>計</b>	<b>168</b>			2		98	2			<b>計</b>		<b>7,603</b>	



昭和6年6月中 神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<b>棒鋼の部</b>		<b>角鋼</b>		<b>型鋼の部</b>		15 22		<b>鋼板計</b> 4649		1 1/4 3	
丸鋼		3/16" 41		溝形鋼		16 7		軌條及附屬品の部		1 1/2 13	
3/16" 71		1/4" 22		2 1/4" x 5/8" 2		17 4		軌條		2 21	
1/4" 22		3/8" 5		6" 96		18 57		lbs		2 1/2 7	
5/16" 2		1/2" 25		計 101		19 11		60		3 24	
3/8" 2		5/8" 12		工形鋼		20 12		Others		3 1/4 99	
7/16" 8		3/4" 10		8" x 5" 36		others 31		計 433		3 1/2 29	
1/2" 21		7/8" 3		15 x 5 1/2 116		計 501		繼目板		4 66	
5/8" 9		1" 2		15 x 6 27		鋼板 (0.7mm以下)		lbs用		5 13	
3/4" 12		1 1/4" 6		18 x 6 132		Sheets 13		19 75		6 13	
7/8" 7		1 1/2" 4		20 x 6 1/4 33		B.W.G.No. 24		60 354		7 84	
1 10		3" 2		24 x 7 67		25 19		Others 4		7 17	
1 1/8" 4		3 1/2" 2		計 411		26 25		計 433		8 25	
1 1/4" 8		計 平鋼		丁形鋼		27 24		重量不明		10 56	
1 3/8" 4		0.34" 3		1 1/2" x 1 1/2" 5		28 24		計 69		10 1/2 18	
1 1/2" 31		3/8" 13		2" 10		29 39		繼目板		11 1/2 9	
1 3/4" 12		1/2" 22		2 1/2" 19		30 273		lbs用		12 13	
1 7/8" 2		5/8" 67		3 5		30 1/2 485		19 7		12 1/2 10	
2 12		3/4" 167		4 5		Others 93		60 23		14 18	
2 3/2" 13		7/8" 103		計 44		計 1.056		39 39		14 1/2 7	
2 3/4" 3		1 79		シート		電氣鐵板		重量不明		Others 10	
3 8		1 1/4" 26		パイリング		0.014" 82		計 502		Pipe fitting 32	
3 1/4" 1		1 1/2" 1		計 431		0.02 6		總材の部		鋼管計 948	
3 1/2" 5		1 3/4" 28		型鋼計 987		0.35mm 41		線材		其他鋼材の部	
4 2		2 21		條鋼計 2.250		0.5 30		5mm 578		特殊鋼	
4 1/4" 2		2 1/4" 9		鋼板の部		Others 10		5.18 50		丸鋼 178	
4 1/2" 2		2 1/2" 20		鋼板 (0.7mm超)		計 169		5.58 636		角鋼 16	
4 3/4" 2		3 8		1/16" 224		鉄力板		1/4" 2		平鋼 60	
5 4		3 1/2" 4		3/32" 90		lbs 84		5/16" 4		鋼板 34	
8 16		3 3/4" 5		1/8" 2		sheets 125		B.W.G.No. 8 270		其他 69	
8 1/2" 2		4 10		15 2		0.014" 82		6 636		其他鋼材計 357	
9 2		4 1/2" 3		1.564 2		0.02 6		5 4,462		鋼材計 15,505	
10 3		5 11		1.74 1		0.35mm 41		4 34		鋼管の部	
10 1/2" 2		5 1/2" 2		4 2		Others 10		3 34		鋼管	
11 2		6 2		5 5		計 169		4 57		鋼管	
12 2		計 612		R.W.G.No. 9 1		鋼板 (0.7mm超)		2 9		鋼管	
12 1/2" 2		半圓鋼		1/16" 224		鋼板 (0.7mm超)		1 9		鋼管	
13 3		計 22		3/32" 90		鋼板 (0.7mm超)		00 1		鋼管	
13 1/4" 3		八角鋼		1/8" 2		鋼板 (0.7mm超)		A.S.W.No. 5 51		鋼管	
3mm 1		計 4		1.564 2		鋼板 (0.7mm超)		線材計 6,799		鋼管	
4 1		其他の棒鋼		1.74 1		鋼板 (0.7mm超)		鋼管の部		鋼管	
5 4		計 27		4 2		鋼板 (0.7mm超)		鋼管		鋼管	
6 31		棒鋼計 1,263		5 5		鋼板 (0.7mm超)		鋼管		鋼管	
19 57		丸鋼計 463		R.W.G.No. 9 1		鋼板 (0.7mm超)		鋼管		鋼管	
22 22		造船材料		10 1		鋼板 (0.7mm超)		鋼管		鋼管	
計 458		計 5		11 7		鋼板 (0.7mm超)		鋼管		鋼管	
27 3/32" 5		計 5		12 5		鋼板 (0.7mm超)		鋼管		鋼管	
計 5		丸鋼計 463		13 5		鋼板 (0.7mm超)		鋼管		鋼管	
丸鋼計 463		棒鋼計 1,263		14 7		鋼板 (0.7mm超)		鋼管		鋼管	

昭和6年5月中民間棒鋼生産高表

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸鋼		32	693	65	78	角鋼		平鋼		80	1
		34	13	70	8					89	16
		35	20	73	10					95	2
6mm	452	36	453	75	13	16mm	551	22mm	11	102	9
8	102	38	343	76	22	63	2	25	210	114	4
10	35					65	7	32	12		
11	8	41	2	79	14	76	2	38	16	125	41
12	5,573	42	209	89	2			41	1	127	6
		44	416	3 3/4"	646			44	5	152	13
13	31	48	5	3 3/4"	147			50	16	165	2
14	2	50	80	4	253			51	15	1 1/2	64
16	3,546							57	15	2	468
17	5	51	46	5	53			60	6	2 1/2	315
19	2,214	54	23	5 1/2	66			63	5	三級品	15
		55	66	二級品	107			65	380	計	1,720
22	1,993	57	8	三級品	517			75	1	棒鋼合計	23,005
25	1,757	60	3					76	71		
28	670			計	20,723	計	562				
29	13	63	6								

昭和6年6月中三港鋼材輸入數量表 (單位噸)

品	區分	神戶	大阪	橫濱	6月計	前月計	本年累計	前年同期計
丸角	鋼	105	56	310	471	429	2,484	14,228
平	鋼	65	—	69	134	27	319	1,616
等	鋼	259	—	356	615	98	1,276	6,559
不	山	—	—	—	—	—	3	6,532
	山	—	—	—	—	22	179	4,213
溝工	形	2	—	99	101	54	382	3,897
鋼板	形	279	134	—	413	—	1,101	7,574
(0.7mm超)		153	91	259	503	281	1,962	29,802
”(0.7mm以下)		652	303	100	1,055	922	6,270	23,539
鉞	力	1,671	352	910	2,933	3,051	15,274	31,529
軌線	條材	4	—	428	432	962	1,815	6,649
シート	パイ	4,612	1,579	610	6,801	4,572	27,658	38,611
リング		—	387	44	431	185	5,062	17,474
鋼	管	73	196	682	951	1,111	4,703	14,942
其	他	271	96	300	667	438	2,559	13,907
計		3,146	3,194	4,167	15,507	12,152	71,047	221,072
硫石	炭	31,122	—	21	31,143	21,786	82,444	
ナ	酸	—	—	—	—	5	85	
ク	ソ	320	50	2	372	240	1,036	
	ル	61	5	—	66	56	225	